

SYUPPIN[®]

**2015年3月期
第1四半期決算補足資料**

シュッピン株式会社

www.syuppin.co.jp (証券コード:3179)



名称	シュッピン株式会社 Syuppin Co., Ltd.
証券コード	3179
代表者	鈴木 慶
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-14-11 日廣ビル3階
設立	2005年8月
事業内容	インターネットを利用して、価値ある大切な中古品を安心安全にお取引を行う
従業員数	175名(2014年6月末)

沿革	1994年8月	専門店屋号「Map Camera」としてカメラ事業を創業
	2005年8月	当社設立(資本金100,000千円)
	2006年6月	時計買取・販売事業を開始
	2008年4月	筆記具買取・販売事業を開始
	2008年11月	スポーツ自転車買取・販売事業を開始
	2012年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場

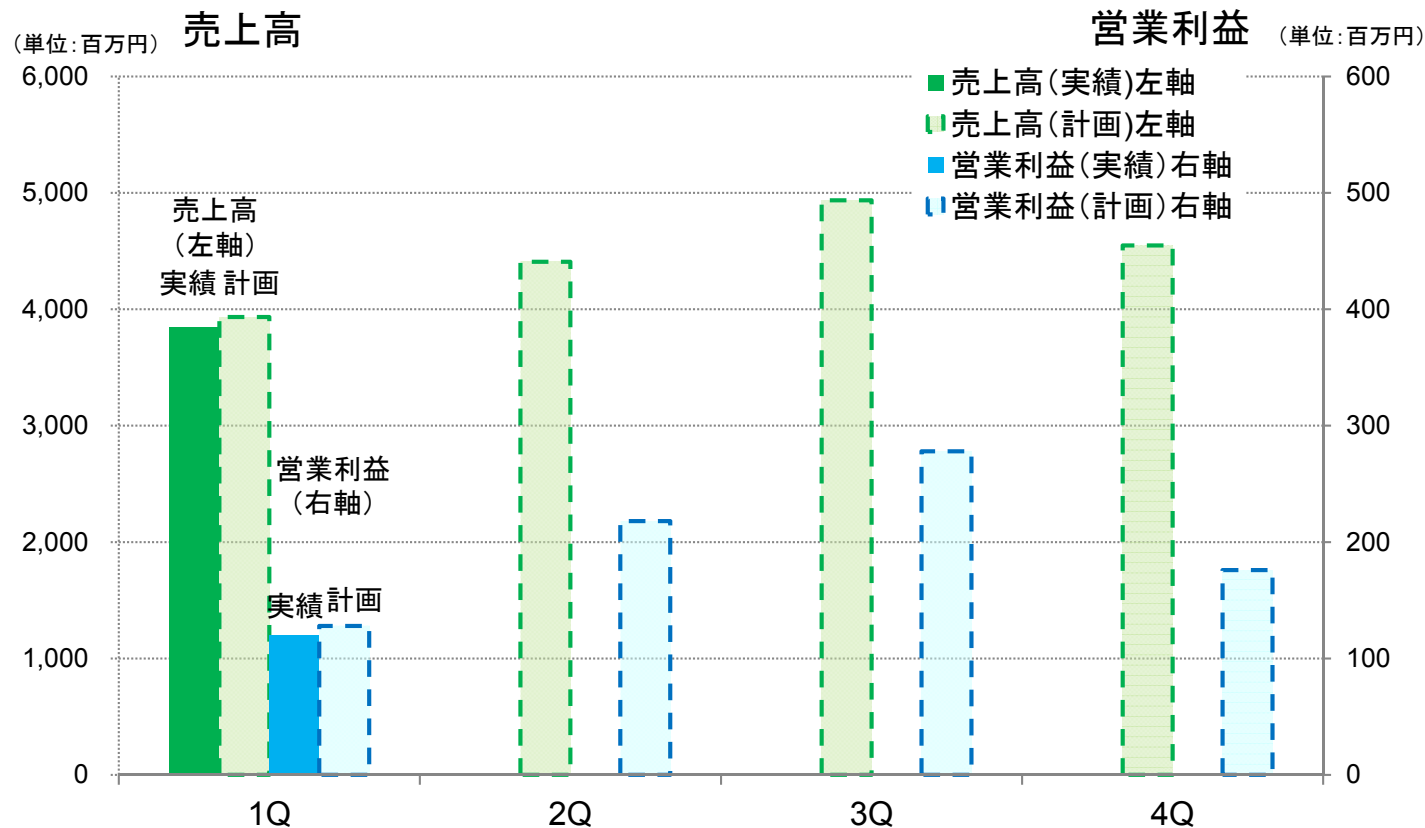
第1四半期ハイライト



売上、利益ともに概ね計画通りに推移。

計画策定時の想定よりも消費増税の駆け込み、反動減が大きく(特に時計)
4月は計画を下回るも、5、6月と順調に回復し、第1四半期では概ね計画通りで着地。

実績・計画四半期推移



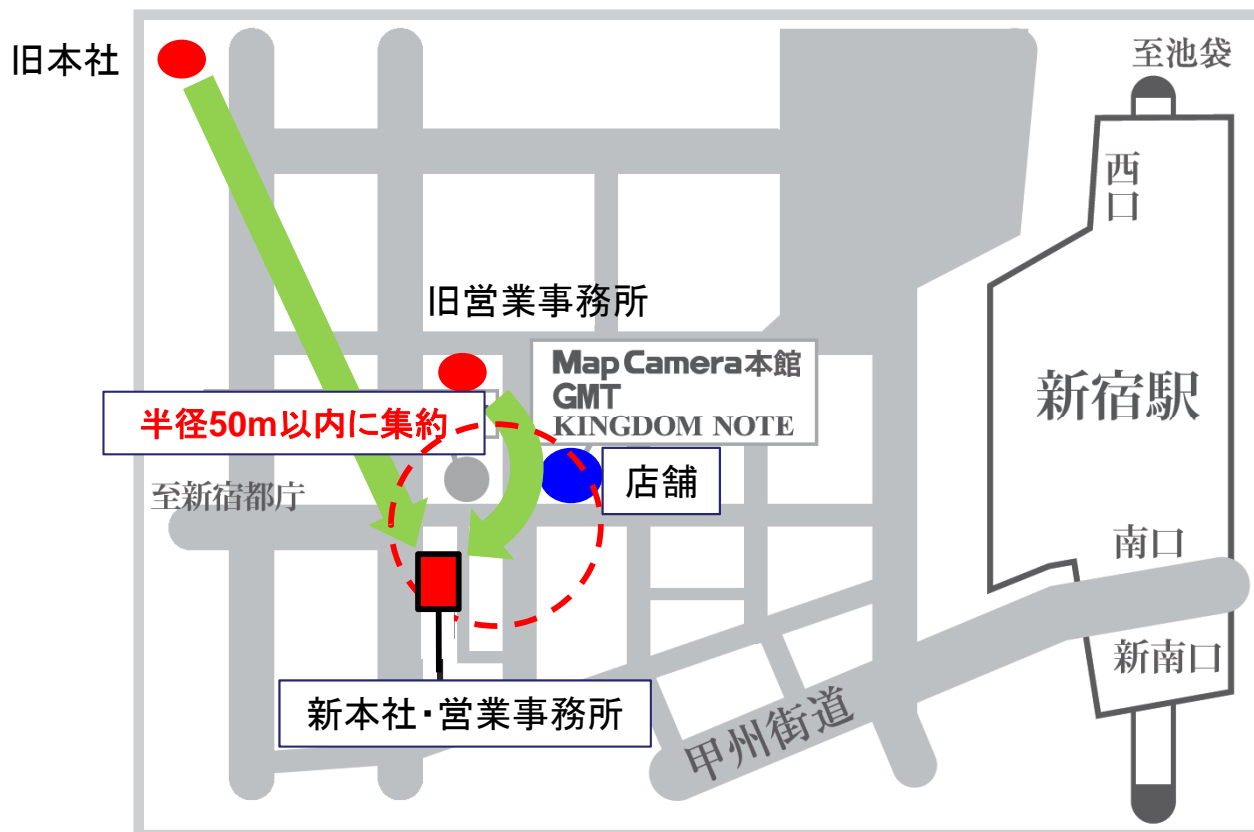
第1四半期トピックス コンパクト経営への取組



本社・営業部門の事務所の移転統合を完了(5月)

店舗を含め半径50m以内に集約し、業務効率、物流機能を大幅改善

eコマース企業としての強みを更に強くするために
販管費比率の低減を図る“コンパクト経営”の施策



第1四半期 決算概要



消費増税の反動減の影響もあり、増収減益であるものの概ね計画通り。

■増収減益要因

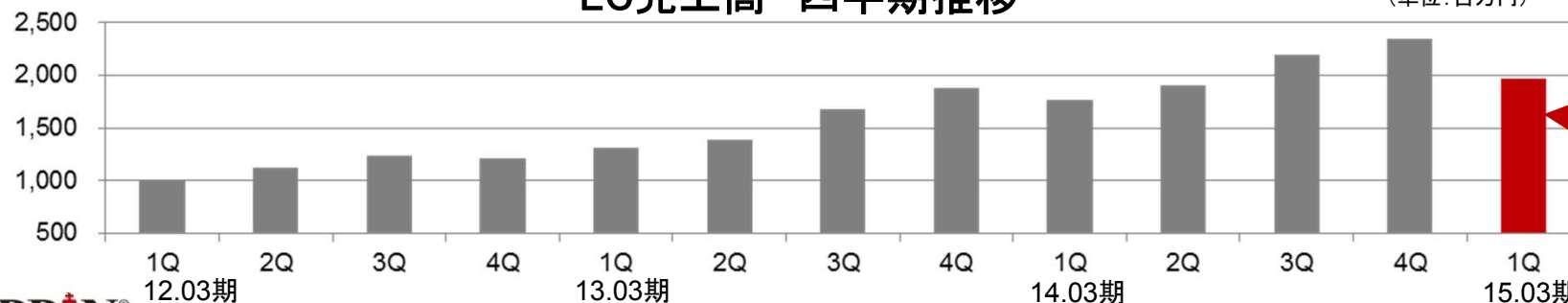
- ① 消費増税による反動減の影響
- ② 5月実施の本社・営業所の戦略的集約移転による一時的なコスト計上
- ③ 前期1Qが、円安、株高による高額時計特需で粗利、利益とも通常時に上乗せ(時計粗利率 前期1Q比3.8pt減少)

(単位:百万円)

	14.03期 1Q		15.03期 1Q				
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	計画	計画比増減
売上高	3,510		3,844		109.5%	3,934	▲90
売上総利益	697	19.9%	689	17.9%	98.8%	—	—
販売管理費	525	15.0%	569	14.8%	108.4%	—	—
営業利益	172	4.9%	119	3.1%	69.6%	127	▲8
経常利益	168	4.8%	115	3.0%	68.9%	—	—
当期純利益	103	3.0%	74	1.9%	71.8%	—	—

EC売上高 四半期推移

(単位:百万円)



前年同期比
110.9%

事業別業績の前年同期比較



(単位:百万円)

事業・販売チャネル		14.03期 第1四半期	15.03期 第1四半期		備考
		実績	実績	前年同期比	
カメラ事業	EC売上	1,337	1,551	116.1%	前年同月比 4月97.2%、5月118.2%、 6月122.6%と順調に回復。 店舗売上は免税売上増加もあり伸長。
	店舗売上	1,223	1,338	109.4%	
	カメラ売上計	2,560	2,890	112.9%	
	セグメント利益	220	236	107.3%	
時計事業	EC売上	322	281	87.0%	他商材よりも、増税の反動減の影響が大きくで ていること。前年4、5月が円安、株高等により高額時 計が特需的に売上が増加していることもあり、減 収減益。
	店舗売上	477	493	103.2%	
	時計売上計	800	774	96.7%	
	セグメント利益	53	14	26.9%	
筆記具事業	EC売上	39	51	130.8%	EC売上が順調に推移。
	店舗売上	30	33	111.7%	
	筆記具売上計	70	85	122.5%	
	セグメント利益	4	5	143.9%	
自転車事業	EC売上	69	76	110.4%	店舗売上伸び率は、前期6月に改装のため一時休 業していたことによる。
	店舗売上	9	17	181.2%	
	自転車売上計	79	94	118.9%	
	セグメント利益	▲7	▲5	—	
合計	EC売上	1,769	1,961	110.9%	
	店舗売上	1,741	1,882	108.1%	
	売上高合計	3,510	3,844	109.5%	

販売管理費の前年同期比較

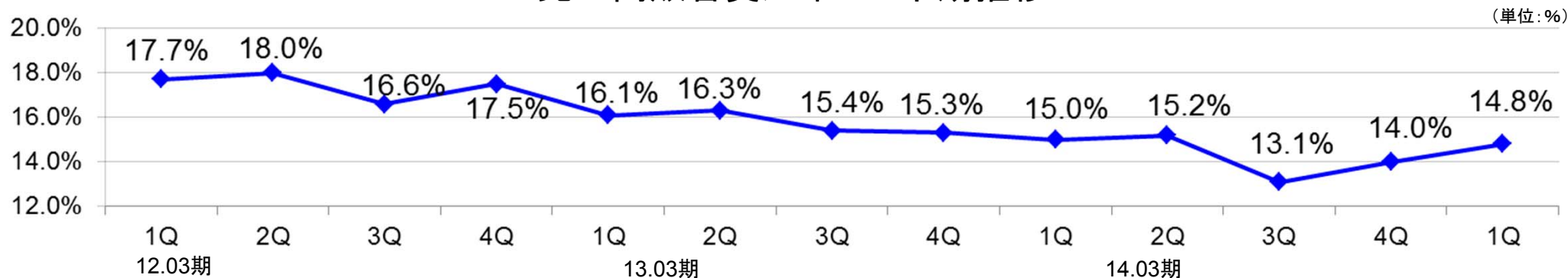


売上高販管費比率は、前期1Qとほぼ同水準。本社・営業所の集約移転コスト(5月)により約2千万円ほど金額増加。(売上高販管費比率 約0.5ptの増加要因)

(単位:百万円)

	14.03期 第1四半期		15.03期 第1四半期		前年同期比	
	実績	売上比	実績	売上比	売上比(PT)	増減
人件費	211	6.0%	227	5.9%	▲0.1	+16
広告宣伝費	11	0.3%	7	0.2%	▲0.1	▲4
販売促進費	48	1.4%	53	1.4%	—	+4
業務委託費	25	0.7%	24	0.6%	▲0.1	▲1
支払手数料	93	2.7%	91	2.4%	▲0.3	▲1
減価償却費	12	0.4%	18	0.5%	+0.1	+6
地代家賃	46	1.3%	50	1.3%	—	+4
その他	75	2.2%	95	2.5%	+0.3	+19
販売管理費計	525	15.0%	569	14.8%	▲0.2	+44

売上高販管費比率 四半期推移



貸借対照表 前四半期末比較



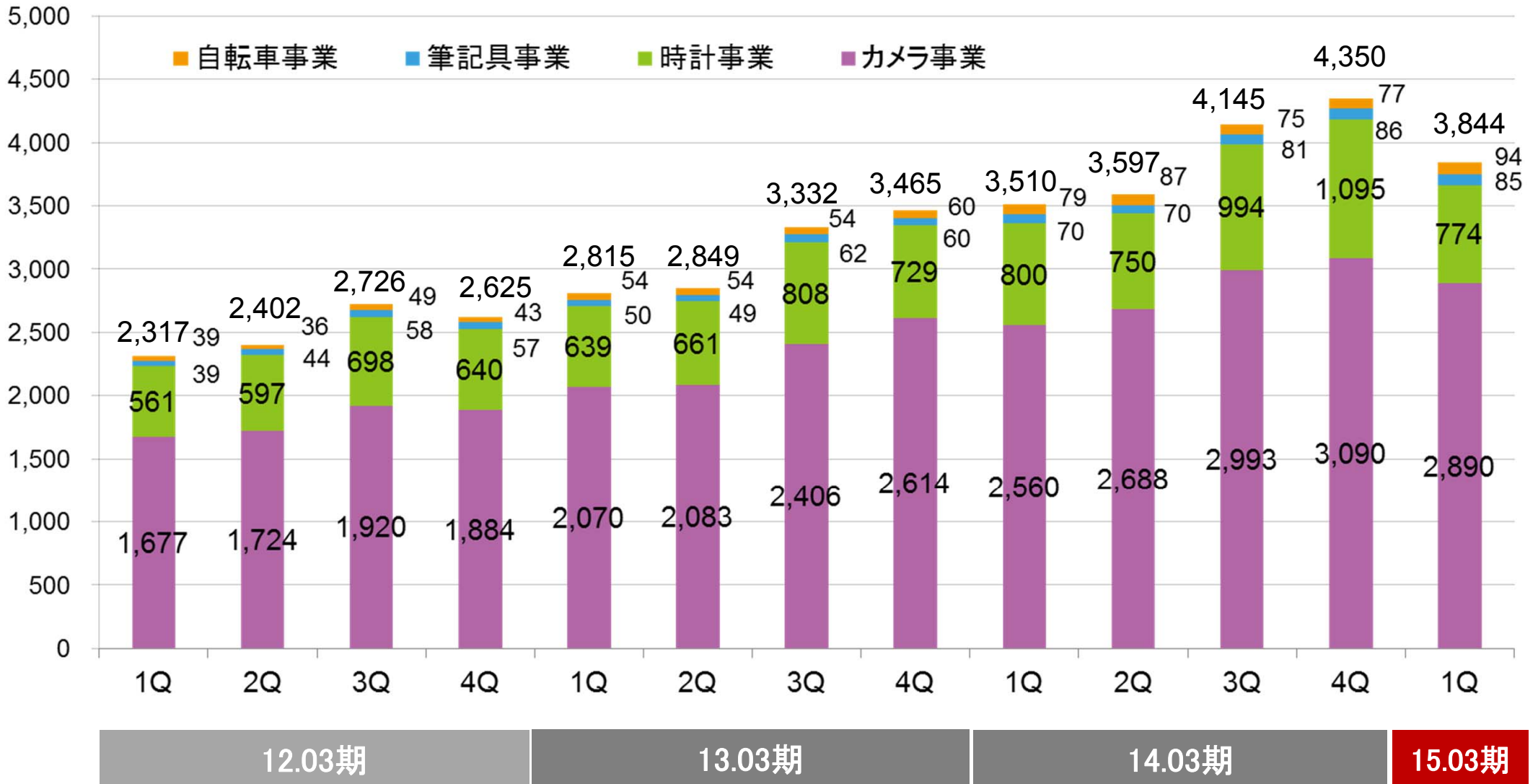
(単位:百万円)

	14.03期末	15.03期 第1四半期末	
		実績	増減
流動資産	3,475	3,367	▲107
商品	1,790	1,950	+160
固定資産	787	812	+25
繰延資産	0.6	0.5	▲0.1
資産合計	4,263	4,180	▲82
流動負債	1,906	1,860	▲46
固定負債	589	538	▲50
負債合計	2,496	2,399	▲97
純資産合計	1,766	1,781	+14
負債・純資産合計	4,263	4,180	▲82

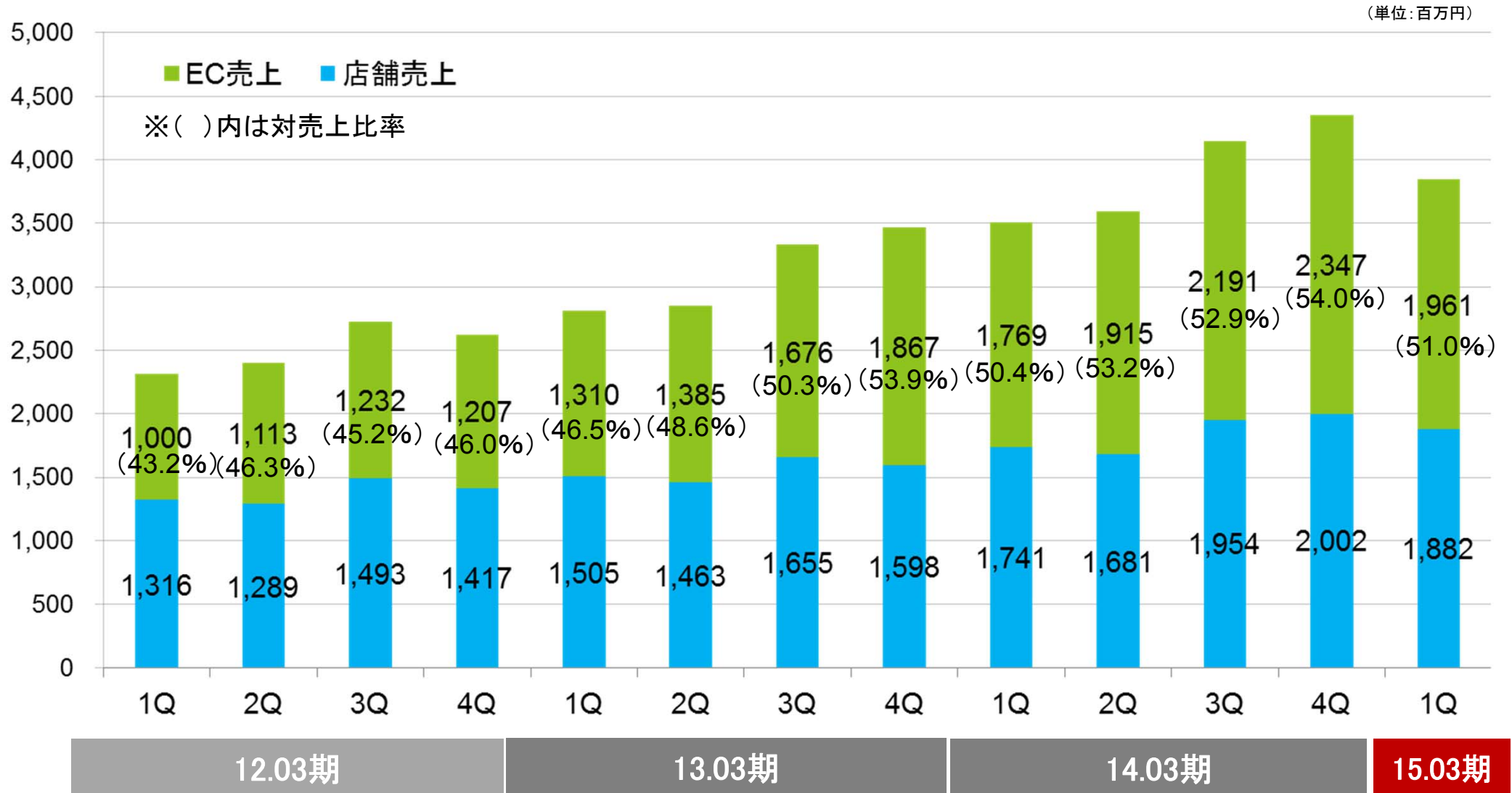
事業別売上高の四半期推移



(単位: 百万円)



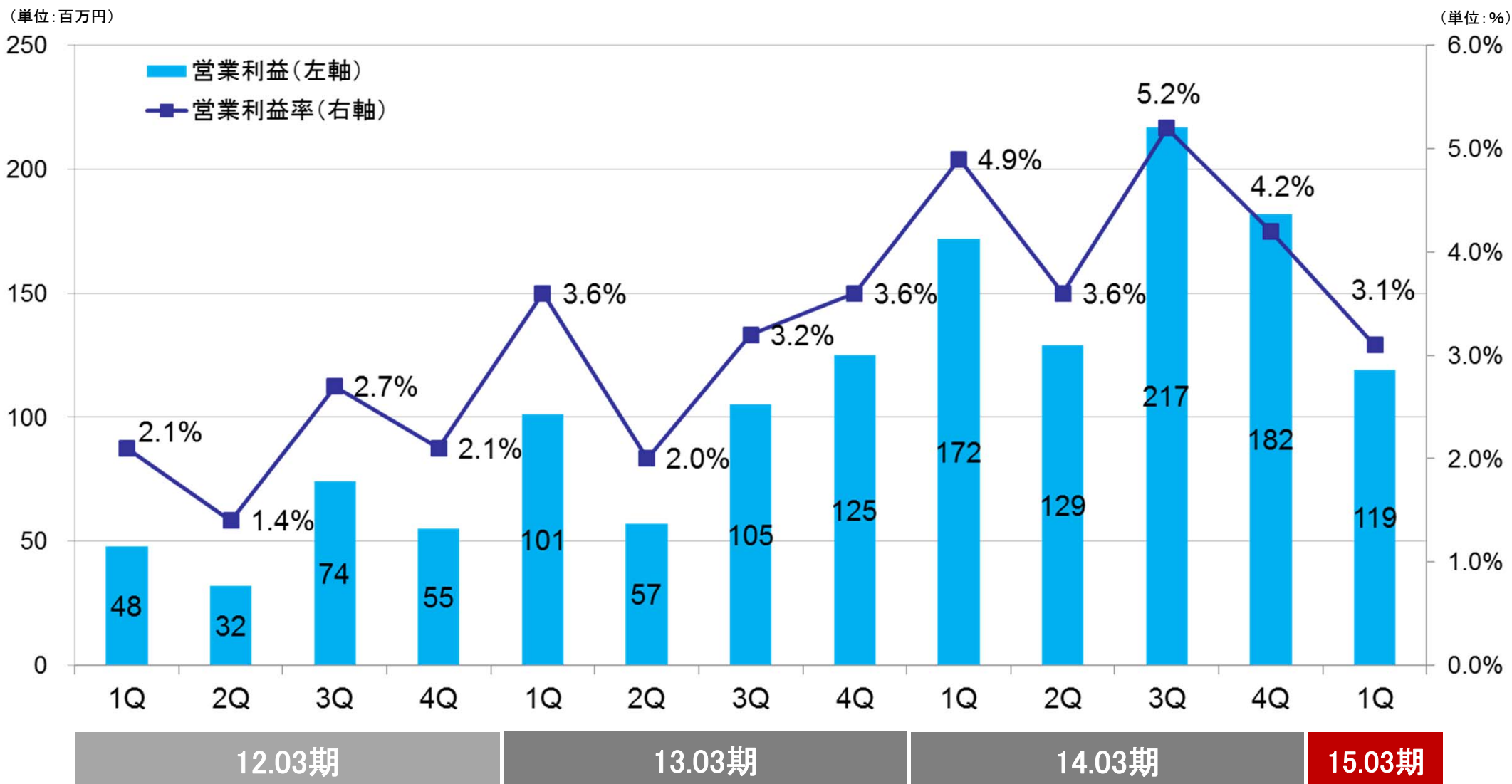
販売チャネル別売上高の四半期推移



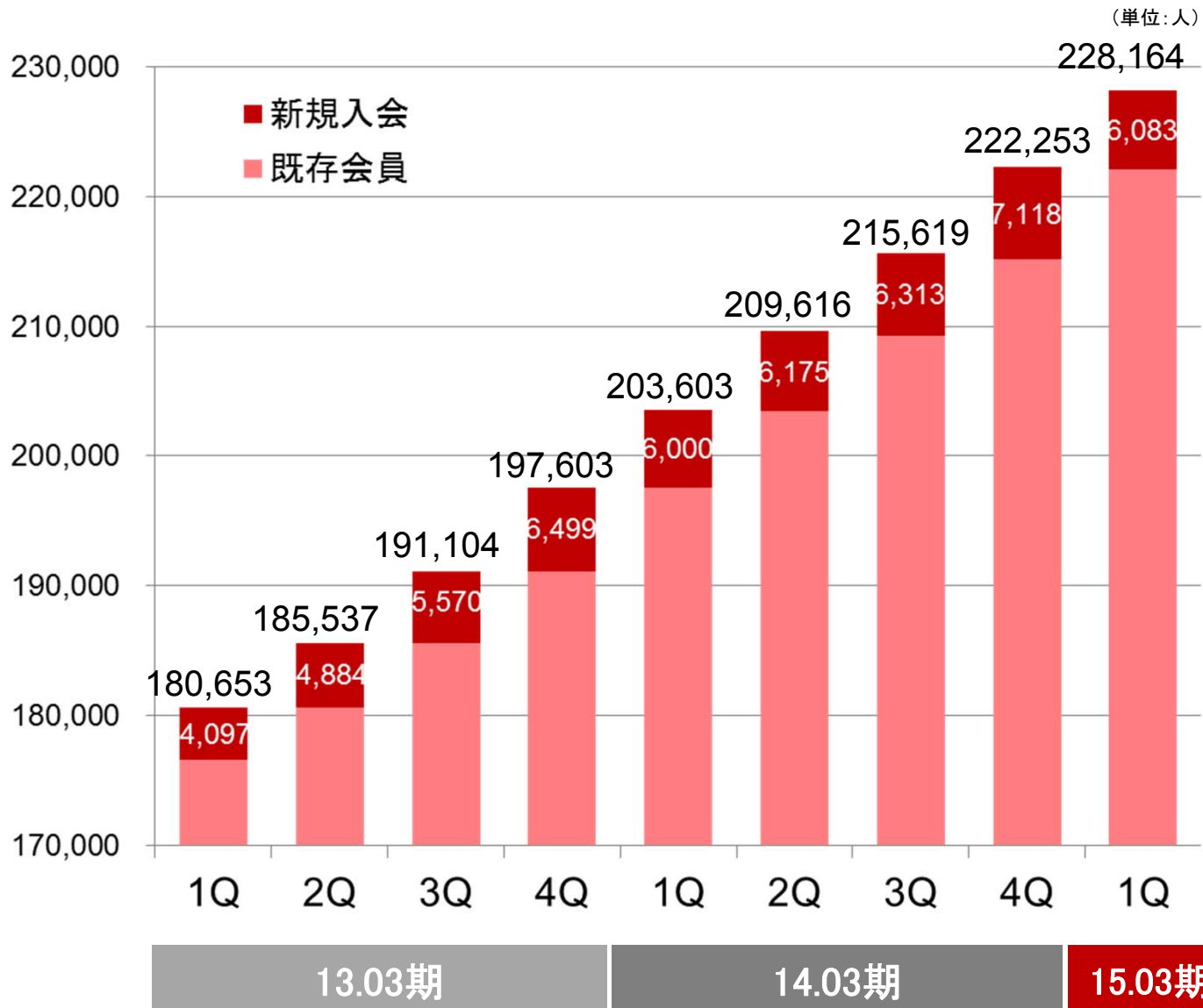
営業利益・営業利益率の四半期推移



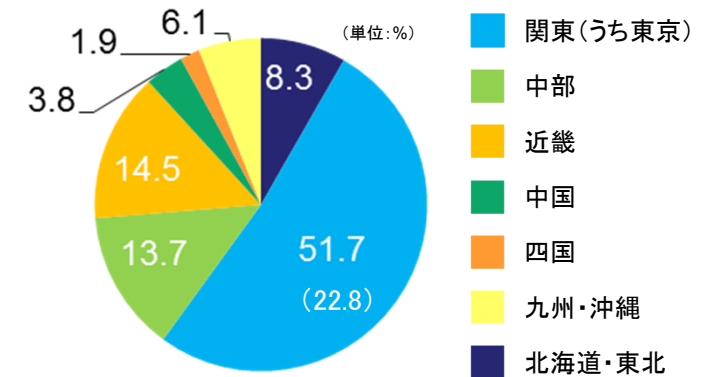
前期4Qの駆け込みの反動減と5月本社・営業所の戦略的集約移転コストもあり、
営業利益、利益率ともに減少。(ほぼ計画通りの営業利益、利益率)



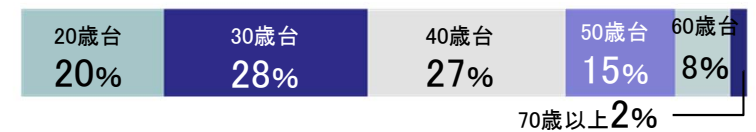
Web会員数の四半期推移、会員属性



Web会員地域分布 (2014年6月末)



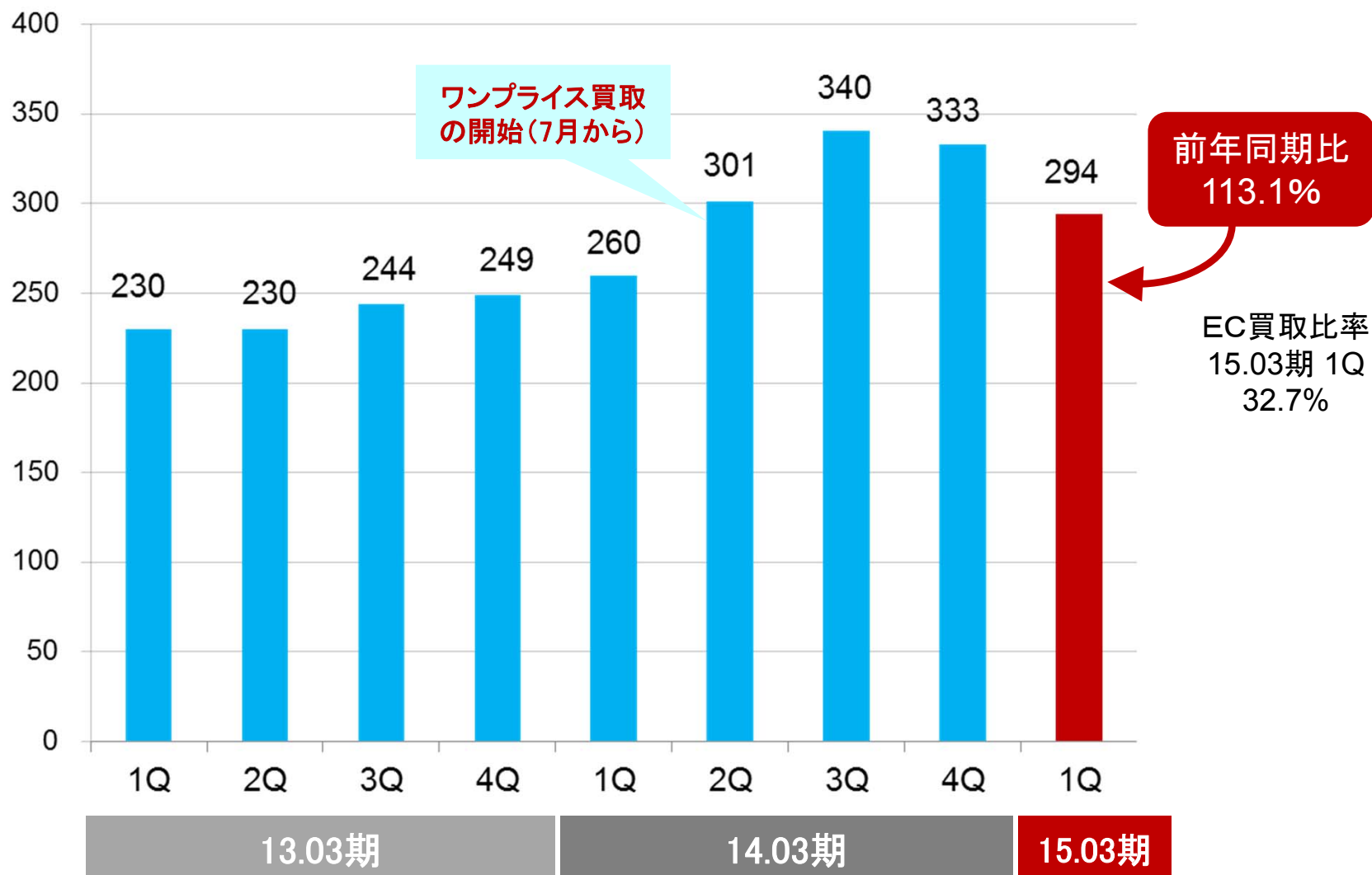
Web会員年齢分布 (2014年6月末)





中古品EC買取額推移

(単位:百万円)





- 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。